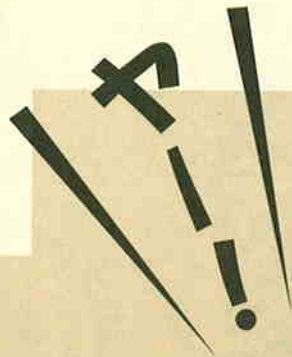


奥会津 だより

2002年盛夏
第13号



お父さんに剣道を習う三兄弟



第六回「歳時記の郷・奥会津」全国俳句大会 小学生の部特選
かまきり
蜻蛉が天の川を見て休んでる

只見中 余湖大介



万歳!大家族

馬場竹一さん一家(伊南村)

撮影：大竹光

奥会津つれづれ

奥会津の男性はたくましいなあと感じることがよくあります。少々のことには動じない強さがあるんです。まず、なまっちろい顔色した男はいないし、重い荷物はすぐ運んでくれる。バーベキューの火は、その辺の枝を集めてきてアツと言う間に起こせるし、魚釣りもつまみ。ヘビやハチやアブに対しても、どうすれば避けられるか、刺されたらどうすればいいか、ちゃんと知っている。夏の暑い中でも草刈りに励む働き者だし、奥会津の急な山をトットと駆け上がる体力の持ち主でもある。

どうして奥会津の男性はこんなにたくましいんだろう。きっと子ども頃、山や川が遊び場だったから、自然の摂理を体に叩き込んでいて、危険を回避する方法やそのための体力や知恵が備わったのだと思う。

しかし、かと思うと、奥会津の男性はすぐくうぶな面もある。女性を前にするとあがつてしゃべれなくなるとか、もじもじしてしまうとか。でもこれってこの地の男性が純粹で素朴だって証拠じゃないかな。

都会の女性諸君! 魅力的で頼りになる可愛い奥会津の男性をよろしく。(潤)

只見川をのぞむ新しい宿泊交流施設

只見町
青少年旅行村

いこいの森

都市との交流拠点として
注目を集めているいこいの森に、
新しいバンガロー7棟が新設されました。

白樺と緑に囲まれたコテージ



広い眺望に蕪生岳と只見川が広がる

1階にベッドとキッチン。2階はロフト。

利用者のこゝろ



ターザンごっこして遊んだの。1本のアイス二人で食べたんだよ。汗かいちゃったから、これから帰るの。
只見小3年 春日沙耶花ちゃん
五十嵐花奈恵ちゃん



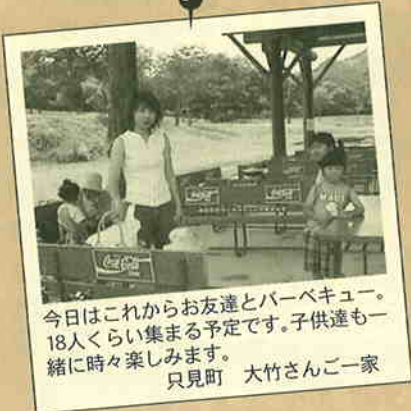
年間10回くらい来ますよ。東京から近いし、釣り、スキーもしますが、テニスは静かな緑の中でプレイできるのが何より。ぜひたく。東京 伊藤さんグループ



E棟に一家8人で泊まりました。高台にあるバンガローからは只見町が一望できて緑が一杯！木の香りとぬくもりに包まれた部屋で、ハイジになった気分でした。
馬場純子さん

コテージを作った大工さん

木のぬくもりと環境との調和にこだわりました。実際に泊まってみて、癒し効果抜群でした。皆さんにもこのぬくもりを感じてほしいです。
只見町 梁取 浩さん



今日はこれからお友達とバーベキュー。18人くらい集まる予定です。子供達も一緒に時々楽しめます。
只見町 大竹さんご一家



管理人 目黒三美香さん



快適でしたよ。夕べの雨も全く気になりませんでした。また家族で来たいですね。千葉県 小林正志さんご一家

宝物って何？

消える雑草と増える雑草

雑草の中には昔からあった在来種と、近年になって海外から入ってきた外来種があることは、皆さんもよくご存知でしょう。例えばタンポポにも在来種と外来種がありますね。奥会津ではまだ在来のタンポポ（エゾタンポポ）は気を付けて見ればどこにでもあります。奥会津には背の高くなる雑草がいっぱい生えているので、夏も休眠しない外来種のセイヨウタンポポ[※]は他の雑草との競争に負けて枯れてしまい、夏に休眠し秋から葉を広げる在来のエゾタンポポが生き残れるわけです。しかし、全国的には外来種に押されて在来タンポポは減少の一途をたどっています。それは、在来のタンポポは繁殖に2株以上必要なのに対し、外来のセイヨウタンポポは1株だけでどんどん繁殖できるからです。

子供のころに実を摘んで投げ合って遊んだオナモミも在来種は激減していて、一般に見られるのは外来種のオオオナモミやイガオナモミだといわれています。この実は奥会津では『バガ』と呼ばれていますが、外来の『バガ』は在来のものに比べてトゲが密生し毛も生えているのが特徴です。皆さんの身近にある『バガ』はどちらですか？秋になってオナモミに実がついたら観察してみてください。

出もどり雑草はさらにたくましく

「雑草のようになくましく」という言葉どおり、どこにでも生えてどんどんはびこる雑草。彼ら

夏真っ盛り。畦や道端、庭先などには日差しをいっぱい吸い込んで雑草が生い茂り、むっとする草生ぎれを発しています。盛夏の草刈はキツイ仕事ですから、雑草の話など、農家の方でなくてもうんざりするかもしれません。ちよっと一息入れて雑草たちの話にも耳を傾けてみませんか。

は日本から飛び出し、既にアメリカやヨーロッパにも進出して、「日本からの帰化植物」として恐れられています。今ではアキノエノコログサはアメリカ東部から中部にかけて広がるトウモロコシ地帯のほぼ全域に広がり、アメリカの農家で相当に手をやいているようです。

一方、日本はアメリカから大量の穀物を輸入しているため、輸入穀物に混じってこのアキノエノコログサも里帰りしています。海外経験をした積んだアキノエノコログサは草丈や花穂も従来ものより一回り大きくなり、一段とたくましさを増しているとのこと。

奥会津自然再発見プロジェクト担当
(株)ブレッタ研究所 松井孝子・関元 聡

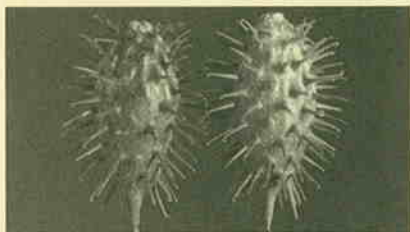


写真1：在来の「バガ」はトゲも少なく毛も少ない

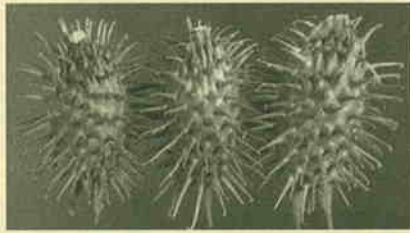


写真2：外来の「バガ」はトゲが密にあり毛も多い

写真出典：「原色図鑑 芽生えとたね」
(全国農村教育協会)

※セイヨウタンポポは花の下に付いている総苞の外片が外側に反り返っていることで区別できます。

第七回 歳時記の郷・奥会津全国俳句大会

◆日時：8月24日(土)・25日(日) ◆場所：昭和村公民館

俳句を楽しみながら盛りだくさんのイベント!!是非ご参加ください!
参加費は無料です。参加者全員に昭和村の芋麻人形を贈呈。郷土芸能の夕べもお楽しみください。

第一日目(8月24日午後1時開会)

●最優秀特別作品の披露
ヤドランカ
(サラエボ出身の世界的歌手・俳句を歌う)
●選者による講評
●表彰式
●俳句談話「歳時記を感じる心」
出席者：本選選者の3先生
ヤドランカさん
(終了予定15時30分)

第二日目(8月25日午前9時開会)

●からむし織の里中庭にて
★現地の囀り吟を一人1句で夕方まで募集(無料)
●囀り吟の選者特選作品の発表
●講評
●表彰
●講演：茨木和生先生(俳人・運河)主宰
演題「俳句に助けられた人生(仮)」
(終了予定午前11時30分)
★田島駅までの路線バス(会場前発12時12分)に間に合います。

●懇親パーティー
場所：しらかば会館(終了予定午後5時)
●かがり火による郷土芸能の夕べ
18時30分より

問い合わせ先
俳句大会事務局 奥会津書房
TEL 024115213580

妖精の里かねやまツデーウォーク

奥会津唯一の湖・沼沢湖畔や只見川を眺めながら、和気調々のウォーキングを楽しみます。楽しみは人それぞれに。健康で豊かなライフスタイルをめざします。

【日時】8月31日(土)・9月1日(日)

【集合場所】8月31日▼中川体育館

○20km：太郎布高原周辺 ○10km：沼沢湖畔

○5km：中川宿めぐり

9月1日▼横田中学校

○20km：里山周回 ○10km：只見川周遊

○5km：尾瀬街道

【参加料】1,000円

【参加申し込み】金山町企画情報課内 妖精

の里かねやまツデーウォーク実行委員会

TEL 024115415222

Fax 024115412117

※お気軽におたずねください。



国境の町に架かる「友情の橋」

教育診断研究所主宰（昭和村）
教育施設でらこや塾頭（田島町）

橋本貞夫

世界の三大滝を知っていますか？その一つの滝がブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの三国にまたがるイグアスの滝です。国境の町ブラジル側にイグアス日本語学校があります。日系の児童生徒は「国境に架かる友情の橋」を渡って通学しています。国の公教育（ブラジル学校）は二部制、授業は午前中だけで、日系の児童生徒は午後日本語学校に通います。日本語学校の授業は日本語ですが、教室ではポルトガル語とスペイン語が使われ、家庭内ではグアラニ語（土着語）もしゃべっています。イグアス日本語学校の校庭にはブラジル、パラグアイ、日本の国旗が3本のポールに高々と掲げられています。子供たちは生れたときから外国語に聞き慣れて育っているので「時と場所と人」によって使うことばの使い分けができます。

「自分は誰であるのか」のアイデンティティ



イー（自己を証明する）の目覚めも幼少時から出ています。日系人のアイデンティティは二つあって、「主」が自分の生れた国、「副」が日本です。ここで日系ブラジル生徒に尋ねてみました。「ブラジルと日本がサッカーの試合をしたらどっちを応援するの？」「ここで試合したらブラジルのチーム、日本で試合したら日本を応援します」と。誰でも自分の生れた国をとっても愛しています。郷土愛が強くても国境を接した隣人としての友好と親善は、事のほか重んじています。海外にいる日系人子女は、祖父母の国である日本に憧れを持ち、尊敬している国、行ってみたい国として日本を誰れでも「一番好きな国」にあげているのです。

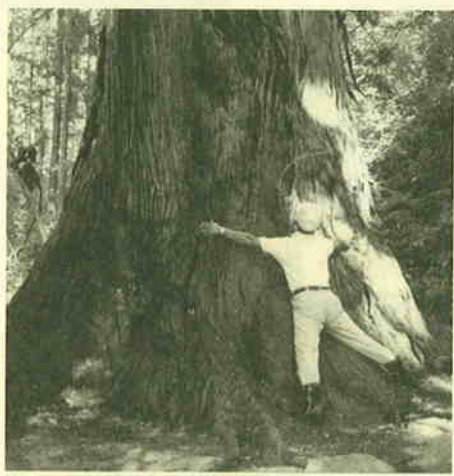


木物語 北野神社の大杉

南郷村・大新田

大新田集落の中ほどから、田園を横切って山際の杉木立を目指す。

北野神社はうっそうとした森に遮られて、夏の日差しも届かない。大杉は神社を背後から守るかのよう境内の奥深く鎮座していた。ご神木である。みだりに撮影されることを嫌うのか、その折に撮った写真の、大杉だけが何故かファイルを開けなかった。



僕の夢！私の夢！



ウルトラマンになりたーい！
三瓶 拓人くん（柳津小1年）
漫画家になりたい。少女漫画描くの好き。
二瓶 早紀ちゃん（柳津小5年）

セミの抜け殻

奥会津賛歌：只見町



庭にある「チビ畑」の見回りが朝の日課である。ある朝、トウモロコシの葉にセミの抜け殻をみつけた。数時間早く起きれば羽化が見られたかもしれない。セミは土中で七年過ごす。わが家の歴史はまだ六年、彼らの方が先住者なのだ。杉林だったのがいつのまにかトウモロコシ畑になっていて、さぞかしセミも驚いたことだろう。

只見町 岡林友紀

HPのお知らせ

ホームページ

『歳時記の郷・奥会津』のホームページが充実しました!!

- ★ほしい情報満載。
- ★タイムリーニュースは毎週更新。
- ★フォトコンテスト写真がダウンロードできます。

是非のぞいてください。
掲示板でご意見やご感想の書き込みを待っています。

カキコしてネ!

<http://www.okuaizu-style.com/tdrsk/>

歳時記の郷 奥会津

- 奥会津の自然
- 奥会津の歴史
- 奥会津の文化
- 奥会津の産業
- 奥会津の教育
- 奥会津の観光
- 奥会津の生活
- 奥会津の未来

奥会津の自然

奥会津の歴史

奥会津の文化

奥会津の産業

奥会津の教育

奥会津の観光

奥会津の生活

奥会津の未来

奥会津の自然

奥会津の歴史

奥会津の文化

奥会津の産業

奥会津の教育

奥会津の観光

奥会津の生活

奥会津の未来

奥会津の自然

奥会津の歴史

奥会津の文化

奥会津の産業

奥会津の教育

奥会津の観光

奥会津の生活

奥会津の未来

奥会津の自然

奥会津の歴史

奥会津の文化

奥会津の産業

奥会津の教育

奥会津の観光

奥会津の生活

奥会津の未来